



1 題材 ふしとリズム

2 目標

- ふし遊びやリズム遊びに興味をもち、意欲的に取り組むことができる。
- 楽曲の特徴や曲想に合わせて、歌い方や演奏を工夫することができる。
- 歌の気分やリズムを感じ取って、身体表現や楽器の演奏をすることができる。
- 楽曲を特徴づけているリズムや楽器の音色を感じ取って聴くことができる。

3 教材

- 「チャチャチャのリズムで」(作詞・作曲 横山太郎) ハ長調
- 「まほうのチャチャチャ」(エンリケ・ホリン作曲)
- 「月の光に」フランス民謡(野上彰作詞) ト長調
- 「かつこう」ドイツ民謡(田中末広作詞) ヘ長調

4 指導観

- 本教材はふし遊びやリズム遊びに親しむことを通して楽曲の雰囲気を感じ取り、楽曲に合った演奏や身体表現ができることねらいとして設定したものである。「チャチャチャのリズムで」ではリズムに合わせて体を動かしたり、リズム伴奏をつけて歌ったりすることで表現のおもしろさや楽しさを味わわせる。「まほうのチャチャチャ」ではチャチャチャのリズムの特徴や様々な打楽器の効果を感じ取らせる。「月の光に」では楽曲の情景を思い浮かべてふしを演奏させたり、ふしづくりをさせたりする。「かつこう」では楽曲に合うように歌い方やリコーダーの演奏を工夫できるようにする。心身の発達が著しく、自己表現の意欲が高まってくるこの時期に、楽曲の雰囲気に合わせて演奏や身体表現を工夫したりすることは大変意義深いと考える。

- 子どもはこれまでに、「小さな世界」や「ドレミの歌」などの教材の中で、歌詞の内容やリズムの楽しさを感じ取って歌ったり身体表現したりする活動を経験してきている。その中でリズムや拍の流れを感じ取る力を身につけるとともに、すすんで表現しようとする態度が育ってきたところである。

本学級の子どもは音楽に興味・関心をもち意欲的に取り組んでいる。朝の会、帰りの会での歌も元気に楽しんで歌っている。リコーダーを演奏することとても好み、きれいな音で演奏しようとする子どもも増えてきた。学習の進め方については、友達と協力しながら自分たちの思いを表すための話し合い活動に積極的に参加しようとする子どもが多くなっている。しかし、曲想に合ったリズム表現や演奏を工夫することに関してはこれからの学習によるところが大きい。

- そこで本題材の指導にあたっては、曲のもつ様子や雰囲気を感じ取り、それに合わせた表現の工夫を子どもが考えて演奏できるようにしたい。

第1次の「リズムに合わせて体を動かしたり楽器で伴奏を工夫したりする」段階ではボディパーカッションやリズム伴奏づけなどの活動を通して楽しみながら表現の工夫ができるようにする。また、鑑賞活動を通して、楽曲を特徴づけているリズムや楽器の音色を感じ取って聴くことができるようにする。

第2次の「音の重なるの響きや情景を思い浮かべて演奏やふしづくりをする」段階では、二つの旋律を同時に演奏してふしの重なりや響きを感じ取らせたり、リコーダーでふしづくりをしたりすることを通して、互いの表現に関心をもち、深め合うことができるようにする。また、歌詞の表す情景を想像し、それに合わせた歌い方を工夫できるようにする。

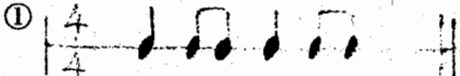
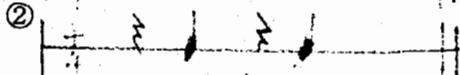
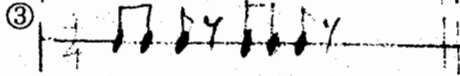
5 指導計画

- (1) リズムに合わせて体を動かしたり、楽器で伴奏を工夫したりして楽しむ。————— 5時間
 - ・「チャチャチャのリズムで」…………… 4時間 (本時3/4)
 - ・「まほうのチャチャチャ」…………… 1時間
- (2) 音の重なるの響きや情景を思い浮かべて演奏やふしづくりをする。————— 4時間
 - ・「月の光に」…………… 2時間
 - ・「かつこう」…………… 2時間

6 本時の目標

- 歌と伴奏を組み合わせて、グループで協力して演奏することができる。

7 指導過程

	学習内容及び学習活動	指導上の留意点	資料・準備
つかむ	1 本時の学習について話し合う。 ○ 既習曲「茶つみ」の歌唱 ○ 前時のふりかえり ○ 三つの伴奏例の復習をする。 ①  ②  ③ 	○ 「茶つみ」を手遊びをしながら歌うことで心身のリラックスを図るとともに、明るい学習の雰囲気を作ることができるようにする。 ○ 手拍子を使って伴奏の練習を全員で行うことで、伴奏のリズムをつかみ、楽器を使った演奏へスムーズに移ることができるようにする。	めあてカード
見通す	2 本時のめあてを確認する。 グループで工夫して「チャチャチャ」のリズムを演奏しよう。	○ どんな工夫ができるか例をあげることで学習の見通しをもって学習に取り組むことができるようにする。	伴奏例の簡易楽譜
深める	3 工夫するポイントについて話し合う。 ○ 歌と楽器のバランス ○ 楽器の組み合わせ 4 グループで演奏の練習をする。	○ ワークシートにきまったことを書き添えることで一目でそれぞれの役割を把握できるようにする。 ○ 楽器の組み合わせを考えさせることでそれぞれの音色に着目できるようにする。 ○ 楽器を使う際のきまりや楽器の扱い方を確認することで楽器を大切に扱いながら気持ちよく活動することができるようにする。 ○ 机間指導をしながら、問いかけやアドバイス、賞賛を積極的に行うことで意欲的に活動に取り組めるようにする。	楽器 カスタネット タンブリン すず ウッドブロック マラカス
まとめる	5 本時のまとめをする。 ○ 学習の振り返り ○ 次時の見通し	○ 本時の学習を振り返り、子どもの取り組みを賞賛しながら、子ども達に満足感をもたせる。 ○ 次時は発表会をすることを伝える。	CD